

1 学校教育目標
<p>世の光、地の塩となる有意な人間を育成すること、一人ひとりを大切にし、その可能性と個性を発展させるために、以下のことを理想とし人間形成をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのない人間の価値を自覚し、自由な人格として自立する ・神から受けた生命や可能性を大切にし、できるだけ発展させる ・自分をとりまく人や物に感謝し、尊び、他の人と共存・共感する意識や感性を養い、自分の持っているものを分かち合う ・神、即ち人間や自然を生んだ大きな存在に気づき、感謝する

2 重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
<p>◎萩光塩学院創立時の教育理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実させていく。</p> <p>◎建学の精神を継承し、発展させる責任を分かち持つ。</p> <p>◎共同体の一員として、自分の役割を自覚し、皆で一致してカトリック教育に取り組む。</p> <p>◎新しい萩光塩学院へ生まれ変わる準備をし、勇気を持って踏み出す。</p> <p>○保護者や地域に信頼される学校を目指す。</p> <p>○好ましい人間関係の育成や社会性を育む教育を充実させる。</p> <p>○確かな学力の定着をはかる。</p>

3 取り組みとそれに対する評価									
国際交流	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">外国客船来萩歓迎セレモニー</td> <td> <p>萩市からの依頼で、外国客船カレドニアンスカイやシルバー・ディスカバラーに乗船する外国人を歓迎するセレモニーで、本校生徒が司会や萩市の紹介をした。今年度は新しくできたメルセダリアンクラブの活動として行うことになり、生徒も昨年の経験を活かして積極的に行い、外国人旅行者からも大変好評であった。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">スカウトジャンボリーへの参加</td> <td> <p>7月から8月にかけて行われた世界スカウトジャンボリーでは、本校生徒31名がボランティアスタッフとして萩・長門地区の小中学校で活躍した。また、光塩で行われた地域プログラムには30名の外国人スカウトが来校し、生徒46名と共に凧作りやヨイショコショ踊りを楽しんだ。生徒たちは積極的にスカウトたちと関わり、スカウト達にとっても楽しく思い出に残る体験になった。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">インターナショナルワークショップ</td> <td> <p>30名の小学生が参加した。毎年多くの小学生が参加しており、萩市内の恒例の行事として認知されている。中学校の募集にもつながっているため、工夫、改善しながら続けていきたい。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">インドネシアからの留学生</td> <td> <p>今年で4回目となるインドネシアからの留学生の受け入れを9月に行った。生徒はスカウトジャンボリーでの経験もあり、積極的に関わっていた。3日間という短い交流だが、生徒にとって大きな体験となった。また、今回はホームステイを9家庭で引き受けていただくことができ、生徒だけでなく保護者にとっても思い出深いものになった。</p> <p>インドネシアの学校からは日数の延長や人数を増やしてほしいなどの希望があるが、学校の規模や授業時数などの関係からも現状維持でと考えている。</p> </td> </tr> </table>	外国客船来萩歓迎セレモニー	<p>萩市からの依頼で、外国客船カレドニアンスカイやシルバー・ディスカバラーに乗船する外国人を歓迎するセレモニーで、本校生徒が司会や萩市の紹介をした。今年度は新しくできたメルセダリアンクラブの活動として行うことになり、生徒も昨年の経験を活かして積極的に行い、外国人旅行者からも大変好評であった。</p>	スカウトジャンボリーへの参加	<p>7月から8月にかけて行われた世界スカウトジャンボリーでは、本校生徒31名がボランティアスタッフとして萩・長門地区の小中学校で活躍した。また、光塩で行われた地域プログラムには30名の外国人スカウトが来校し、生徒46名と共に凧作りやヨイショコショ踊りを楽しんだ。生徒たちは積極的にスカウトたちと関わり、スカウト達にとっても楽しく思い出に残る体験になった。</p>	インターナショナルワークショップ	<p>30名の小学生が参加した。毎年多くの小学生が参加しており、萩市内の恒例の行事として認知されている。中学校の募集にもつながっているため、工夫、改善しながら続けていきたい。</p>	インドネシアからの留学生	<p>今年で4回目となるインドネシアからの留学生の受け入れを9月に行った。生徒はスカウトジャンボリーでの経験もあり、積極的に関わっていた。3日間という短い交流だが、生徒にとって大きな体験となった。また、今回はホームステイを9家庭で引き受けていただくことができ、生徒だけでなく保護者にとっても思い出深いものになった。</p> <p>インドネシアの学校からは日数の延長や人数を増やしてほしいなどの希望があるが、学校の規模や授業時数などの関係からも現状維持でと考えている。</p>
外国客船来萩歓迎セレモニー	<p>萩市からの依頼で、外国客船カレドニアンスカイやシルバー・ディスカバラーに乗船する外国人を歓迎するセレモニーで、本校生徒が司会や萩市の紹介をした。今年度は新しくできたメルセダリアンクラブの活動として行うことになり、生徒も昨年の経験を活かして積極的に行い、外国人旅行者からも大変好評であった。</p>								
スカウトジャンボリーへの参加	<p>7月から8月にかけて行われた世界スカウトジャンボリーでは、本校生徒31名がボランティアスタッフとして萩・長門地区の小中学校で活躍した。また、光塩で行われた地域プログラムには30名の外国人スカウトが来校し、生徒46名と共に凧作りやヨイショコショ踊りを楽しんだ。生徒たちは積極的にスカウトたちと関わり、スカウト達にとっても楽しく思い出に残る体験になった。</p>								
インターナショナルワークショップ	<p>30名の小学生が参加した。毎年多くの小学生が参加しており、萩市内の恒例の行事として認知されている。中学校の募集にもつながっているため、工夫、改善しながら続けていきたい。</p>								
インドネシアからの留学生	<p>今年で4回目となるインドネシアからの留学生の受け入れを9月に行った。生徒はスカウトジャンボリーでの経験もあり、積極的に関わっていた。3日間という短い交流だが、生徒にとって大きな体験となった。また、今回はホームステイを9家庭で引き受けていただくことができ、生徒だけでなく保護者にとっても思い出深いものになった。</p> <p>インドネシアの学校からは日数の延長や人数を増やしてほしいなどの希望があるが、学校の規模や授業時数などの関係からも現状維持でと考えている。</p>								

国際交流	JICA 国際協力中学生エッセイコンテスト	JICA 国際協力中学生エッセイコンテストで、学校賞を5年連続で受賞した。日頃の国際理解に対する取り組みの成果であり、来年度は特別賞をいただけるようにがんばりたい。
総務	小学校・中学校、中学校・高等学校の連携強化	小学校・中学校・高等学校の連携を図るために、春休みに、新入生の出身校を訪問した。また、募集で年5回学校訪問する際も生徒の近況などを伝えている。さらに小学校・中学校、中学校・高等学校で行う連絡協議会や研修会などに参加し、情報交換を積極的に行っている。この取り組みは続けていきたい。
	保護者との親睦	保護者と教員の親睦のために、6月にスポーツ大会と懇親会を行った。スポーツ大会には幼稚園も合わせ保護者26名、懇親会にも19名の参加があった。2月の懇親会は保護者16名が参加した。中学校では、保護者、生徒、教員での懇親会を10月と3月に行った。保護者と教員が協力して生徒を育てていくためのよいつながりができた。 また、萩市駅伝に光塩ファミリーとして2チーム総勢32名で参加した。参加者は幼稚園から高校までの保護者、教職員、卒業生、卒園生の保護者と幅広く、光塩ファミリーの強い繋がりを萩市民にもアピールすることができた。
教務	学力向上のための取り組み	今年度から学力向上のための取り組みとして次のような企画を準備した。 ①月2回行っていた土曜の学習登校日を、特進コースと中学校は通常の授業の日とする。(高校の普通クラスは今までの学習登校日を行う。) ②平日の7時間目を高校は大学受験対策講座として課外授業を、中学校は5教科の補充授業を行う。 土曜日の日数が少なく受験対策には不十分であったため上記のように変更したが、今年度はその点を改善することができた。しかし、課題も見えてきたので、来年度は朝読や漢字テスト、英単語テストなど含めてさらに充実するように見直していきたい。
	学院の精神の見直し	学院の精神の資料が古くなってきたので、資料を確認し手直しを行った。来年度以降続けて見直していきたい。また、開校記念日に向けての学院を知るための資料作りを行ない、今までの資料と合わせることで、萩光塩学院創立時の歴史がよりわかりやすくなった。
	英語教育の充実	中学生1名が「長州ファイブジュニア英語学研修」に参加し、他ではできない経験をすることができた。また、高校生では1名が「ロンドン大学語学研修」に選ばれ、この体験をもとにした英語スピーチで、山口県高等学校英語弁論大会で優勝、中国地区高等学校英語スピーチコンテストで3位をとるなど活躍した。もう1名は「阿武町未来を担う人材育成事業」でフィリピン・セブ島の語学留学に選ばれた。

進路指導	校内進路ガイダンス 大学・専門学校訪問	<p>今年度は各学年次のような目標を立てた。</p> <p>1年 学習の習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る</p> <p>2年 職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する</p> <p>3年 進路目標達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的な取り組みを始め、進路実現を行う</p> <p>目標の実現のために、業者による校内進路ガイダンス（職業理解、授業体験、就職面接練習）や講話を行った。また、今まで至誠館大学（山口福祉文化大学）で行っていた大学訪問を、山口県立大学と山口コアレッジ、山口コ・メディカル学院で行い、より充実したものにすることができた。</p>
生活指導	目標	<p>生徒指導の目的</p> <p>生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」 ・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。 ・正しい服装をする。・遅刻をしない。・すすんであいさつをする。 ・場にあった正しい言葉づかいをする。・いじめを絶対に許さない。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・試験期間中の校外巡視。 ・列車巡視（長門・須佐方面） ・いじめアンケート・生活アンケートの実施 ・携帯・スマホ安心安全講習 ・交通安全教室（スタントマンによる事故の再現） ・各学年による服装検査
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の巡視を行っているためか、各施設・店舗などから生徒の過ごし方についての苦情が少なかった。 ・生徒の自転車運転のマナー（特に右側通行・並進）で外部から苦情があったことは残念だった。 ・コンビニのゴミを指定の場所に捨てず、校内に捨てる生徒がいた。 ・服装が乱れた生徒はあまり見られなかった。 ・場に応じた言葉遣いができていない生徒や挨拶の声が出ない生徒が多いように感じられた。 ・4・5月は特に twitter や LINE などの SNS によるトラブルが多いように感じた。自分の発言に責任を持って利用して欲しい。 ・いじめアンケート・生活アンケートを実施した。その結果友人同士のトラブルが数件あったが、各担任が面談等でよく生徒の話を聞き、解決に向かうことができた。いじめ対策委員会で話し合ったり、専門機関に相談して取り組むことができた。
	来年度に向けて	<p>先生方からの注意ではなく、生徒一人ひとりの規範意識をもっと高めるようにしていきたい。そのために校友会と連携して、校内における生活指導上の事案について、その都度話し合い、お互いに校則等の共通理解を深めたいと考えている。教員からの一方的な禁止ではなく、生徒自らがダメなものはダメと言えるような学校を目指していきたい。それが、校内外での生活態度やいじめを許さない態度の育成にも繋がると考える。</p> <p>また、今後も生徒の人格を尊重し、成長を促す開発的生徒指導、問題行動の未然防止に取り組む予防的生徒指導を全教員で行っていく。</p>

教育相談	目標	一人ひとりの子どもの教育上の諸問題について、本人又は保護者、教職員などとともに解決に向けて取り組む。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との引き継ぎ ・保護者との事前教育相談 ・継続的支援の実施 ○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・必要に応じて指導、支援の実施 ○ケース会議 <ul style="list-style-type: none"> ・問題が発生した場合、会議を実施 ・スクールカウンセラー、専門機関等との会議の実施 ○情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に中学校との引き継ぎ ・専門機関との引き継ぎ ・保護者との教育相談 ・個別面談の実施 ・担任、教科担当、部活顧問からの気付き・意見の収集 ○情報共有、支援 <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の共通理解 ・担任、教科担当への支援 ・本人への指導、支援、相談 ・保護者に対する相談窓口 ○専門機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターとの連携 ・医療機関との連携 ○スクールカウンセラーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員との面談 ・心理教育授業の実施 ○いじめ対策委員会への参加
	反省	<p>今年度よりスクールカウンセラーの定期的な相談活動が実施されたことで、スクールカウンセラーとともに生活指導・教育相談体制づくりを図れたことがとてもよかった。また、ケース会議を通して専門的な立場からの意見や情報をもらうことができ、生徒、保護者、教職員の問題解決に向けて助けとなり指導にも活かすことができた。</p> <p>教職員は、生徒が抱えている問題や悩みをよく見つめ、問題解決に向けて効果的な連携を図ることができた。しかし、まだ教職員間での情報がうまく教育相談組織に伝達されていない場合があったように感じた。これからも教職員が情報を共有し連携を図り、充実した教育相談活動に取り組んでいきたい。</p>
来年度に向けて	生徒一人ひとりが抱えている問題も多様化してきている。早期解決に向けて、教職員間の情報を共有し、共通理解に基づいたすばやい対応を行っていききたい。校内の各組織と連携を図り、機能的な体制が構築されていくよう改善していききたい。	
募集	目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 今まで以上に全員で募集活動に当たる (2) スピードのある募集活動を行う (3) 萩市内の宣伝を強化する (4) 長門市への宣伝も強化する
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 全員での募集活動 <ul style="list-style-type: none"> ・5つの部門 [スクールガイド、オープンスクール・、学校見学日、広報活動・広告、DVD、学校訪問割り当て・ポスター配布先] に分かれて、責任者を中心に計画と活動を実施 ・教頭・募集責任者+各委員会の責任者が集まって、前期と後期の活動計画を話し合い、各活動が円滑に進むように調整、新企画についての話し合いを行う ・中学校訪問は、分担を決めて全員で年5回行った。 ・小学校訪問は、中学校主任を中心に分担を決めて年2回行った。 (2) KRYサービスステーションを利用した募集活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 萩光塩学院グループポスター (幼・中・高) 1回、新聞ちらし 1回、11月 (夕方) /12月 (早朝) に週1回YABでCM、1月2日に夜CM1回など

		(3) テレビやラジオ、新聞で学校を紹介したり、学校行事や生徒の活動が取り上げられる機会が多かった (4) 部活動の活躍により、今まで以上に横断幕を作成する回数が増えた
	反省	教職員全員で募集活動にあたる体制が整ってきた。保護者の方もポスターやチラシの配布などに積極的に協力してくださり、今まで以上に外部に学校をアピールすることができた。
	来年度に向けて	スピード感のある募集活動を目指したい。 長門方面での効果的な募集活動を考えたい。
校友会	目標	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、今までの行事を充実させる
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい企画 旧校友会 : 新入生歓迎会を企画 新校友会 : 3年生を送る会を企画 ・クリスマス祝いの企画 ・各クラスの生徒の要望を、校友会でまとめ、学校に提出した(新校友会はこれから実施) ・月目標の生徒全員への意識付けを図り、代議委員会での決め方についても検討した ・リーダー研修会や様々な会の運営について討議し、会の充実を図った。 ・各委員会との連携を密にして、学校全体の校友会活動が活発になるよう努力した ・東京光塩へのメッセージを、旧校友会が2回送る(相手からも2回来る) ・中学校では、新校友会になってから生徒会新聞や意見箱など、新しい企画を始めている。
	反省	年々校友会執行部の活動が盛んになっており、自らが企画して実行するという形ができあがってきた。 中学校でも、行事の企画運営などで、生徒が主体となって活動する様子が多く見られるようになった。
	来年度に向けて	生徒に楽しんでもらえる活動はもちろんだが、光塩らしい活動も企画していきたい。 (例) 宗教部と協力して、東日本大震災の講演会を開いて、それと結び付けた募金活動やボランティア活動を企画するなどの企画

4 保護者からの意見

高1オリエンテーション(萩セミナーハウス)

- 入学してすぐにあつたので、学校、生徒、先生方のことが覚えられて、緊張していた気持ちが少し和らいでよかったと思います。
- 親睦を深めるためにも、学校についてより深く知るためにも、大変有効な行事だと思います。

交通安全教室

- ケーブルテレビで様子を拝見しました。スタントマンによる演技は見るだけで怖いのに、実際に目の前での迫力は子供たちも驚いたと思います。自転車で通学しているのでいつもマナーを守り安全運転を心掛けてほしいです。

中学校校外学習(防府)

- 防府のソラルルでは目の錯覚によるだまし絵を見て、子供たちも楽しかったようです。また毛利庭園では昼食や見学など、先輩後輩と仲良くコミュニケーションをとることができ、よい1日だったようです。
- とても楽しかったようです。3年は人数が少ないので、全学年での行事は嬉しいです。

萩光塩会総会

- 総会の方は少し人数が少なく感じましたが、議題に対してみなさん話をよく聞いてくれたと思います。
- 総会の資料に年間行事予定表が配布されるとよいかと思いました。
- 参観される保護者が少なく感じました（平日のせいかな）。総会で先生方を紹介していただけると嬉しかったです。

スポーツ大会懇親会

- 普段はあまり話すことのない保護者の方とスポーツを通して楽しくプレーと話で盛り上がりとてもいい思い出になりました。
- スポーツ大会は接戦ばかりで大変盛り上がってよかったです。懇親会では幼稚園の保護者の方とも話ができてよかったです。
- スポーツ大会も懇親会も有意義な時間を過ごすことができた。お互いに誘い合いもう少し参加人数があればもっとうれしい。次回も計画をし、早めにみんなに日程を知らせたい。

中学校オープンスクール

- みんな大きな声で自信を持って話す姿がとてもよかったです。学校や家で練習したんだなあという頑張りが伝わってきました。
- 英語スピーチコンテスト本当にすばしかったです。子どもたちもみんながんばっていましたし、何より先生方のご指導がすばしかったです。
- 今年のスピーチコンテストは素晴らしかったです。参加した小学生のお母さんたちからも「すごい！！」の声があがっていました。

文化祭

- 時期的にも定着して良いと思います。平日でゆっくり見れないことは少し残念です。
- ダンスや音楽がよかった。

中学校修学旅行

- 帰ってきてたくさん話をしてくれました。とてもよい経験だったと思います。環境や文化の違いなど学習したことを何かに役立ててくれればと思います。

夏祭りヨイショコショパレード

- 毎年大勢の方の参加とファミリーとしての一体感に感心しています。
- 他の保護者の方や教職員の方との交流が深まりよかったです。

世界スカウトジャンボリー

- いろいろな方と交流できたことが子供にとって良い刺激になったと思います。
- 凧作りをしたと聞きました。コミュニケーションをうまくとりながら接することができたようです。

体育祭

- 伝統的な体操を見れて懐かしかったです。今後も続けてほしいです。棍棒体操は男子生徒も参加しても良いのでは。
- 家族参加の玉入れ、ミッションインポッシブル、綱引きはとても楽しかったです。少人数故の醍醐味ですね。一週間という短い練習期間で、子供達はとても上手にまとまってできていたと思います。

開校記念日

- 参加者がもっとたくさんいたらよかったです。よい経験ができた。
- 神父様のお話を聞いて大変有意義だったようです。
- 中学校の修学旅行の内容がよく理解できて安心した。

バザー

- 案内の看板のような物があればもっと場所がわかりやすい。
- 天気がよかったので、自販機や各コーナーでもお茶がなくなり、年配の方が困っていた。食堂で食事をする人が多いのを利用して、学院の様子ビデオをスクリーンで流しておいてはどうか（保護者はどんなことをしているかよくわからない人が多いと思う）。
- 焼きちくわが美味しかったので来年も是非
- 天候にも恵まれ人出も多く有り、良かったと思う。体育館で、割烹着姿でてきぱき準備する生徒が好印象だった。
- おむすび、サンドイッチ等の引き替え場所が体育館と離れていたため、いろんな人に尋ねられた。
- 体育館が新しくなって初めてのバザーで、意外にも食堂で席がなく困った。引き替えができてテーブル席がなくとても困ったので、席がもう少しあったらよかった。
- とても盛況でびっくりした。特にクッキーの販売のところの行列の長さは、歴史とその味を守り続けられたことによるファンの方々による物なのかと驚いた。

キャロルコンクール・クリスマス祝い

- 保護者が参観できるようになれば嬉しい。
- 男子と女子で各パートの練習や朝練などをして、クラスで協力してできた。
- クリスマスの先生たちの劇がとてもおもしろかった。

カルタ会

- 高校生と一緒にグループで大変楽しかったようだ。日本の伝統を大切にしているところが光塩の良さ。
- 他学年との交流もでき良いと思う。

萩市駅伝大会

- 昨年にくらべチームも増えて参加者、お手伝いの方も多くよかった。
- 打ち上げは、お手伝いをできなかった方も、もっと気楽にこれるように説明し、なるべく多くの保護者と先生方が交流できるようになったらいいと思う。応援の時、のぼりや横断幕があると目立つと思う。
- 恒例の行事となるといいと思う。楽しく参加できるところがよかった。

中学校・高等学校入試

- 中学生の保護者や生徒が行きたくなるような学院になるよう、スポーツ以外の学業面でもレベルの高い生徒が集まるような高校になるようにしていってほしい。高校や中学の新しい取り組みが、周囲にわかるよう宣伝してほしい。
- 高校入試のため仕方ないが、生徒の休みが長すぎではないか。

生徒の校内・校外での様子

- 中学生はよく挨拶をしてくれるが、もう少し大きな声が出てほしいと思う。
- 生徒の挨拶が大きな声でとても気持ちがいいです。車の前を横切るときは会釈もしています。感心しました。
- キャロリングなどで、施設訪問なども保護者として誇らしかった。
- 生徒が先生に相談しやすい環境なので、とても助かっています。
- 高校生の自転車に乗ってのイヤホンが気になる。歩きの子もそうだが、安全面からやめた方がよい。
- あまり話してくれない息子ですが、光塩ならではのあたたかい校風が息子の笑顔から見受けられます。親としてはほっとしております。長いようで短い高校生活、積極的に向上心を持ち過ごしてくれたら嬉しいです。いつもひとりひとりとかわりを持って接して下さる先生方、ほんとにありがとうございます。

5 教員の自己評価

教育目標をもとに 34 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行った。それぞれの項目について評価は 1～5 の 5 段階で行い、その平均を示した。昨年度のものと比較すると、カトリック教育の面や人間関係、保護者とのかかわり、モラルの向上などについて点が上がっており、意識が向上しているものと思われる。

1. 平成26年度 重点目標等について		平均		
		1 学期	3 学期	
1	重点目標	萩光塩学院創立時の教育の理念を理解するように努めた。	3.8	3.8
2		萩光塩学院創立時の教育の理念を具体化し、充実させた。	3.0	3.1
3		カトリック教育に取り組むことができた。	3.4	3.4
4		新しいことにチャレンジし、新しい萩光塩学院への取り組みができた。	3.4	3.3
5	重点事項	保護者や地域に信頼される教師として努力した。	3.7	3.9
6		好ましい人間関係の育成や社会性を育む教育を充実させた。	3.4	3.6
7		生徒の学力定着を図るため具体的な方法を考え実践し、成果がみられた。	3.2	3.3
8	めざす教師像	生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出し、のばすことができた。	3.2	3.5
9		受容的姿勢を大切にしながら、「是は是、非は非」とした指導ができた。	3.8	3.8
10		自分が萩光塩を背負って立つ気持ちをもって、仕事をすることができた。	3.4	3.6
11		具体的な目標に向かって、生徒とともに汗を流した。	3.3	3.7
12		家庭との連携を図り、信頼関係を築くことができた。	3.3	3.6
13		モラルの向上と綱紀の保持に努めた。(学校内の言葉使い・学校外での立ち振る舞い等)	3.5	3.7
14		教科指導に積極的に取り組んだ。	3.7	3.6
15		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した。	3.2	3.3
16		自分の個性や特技を積極的に発揮した。	3.3	3.4
17		自分の役割を自覚し、責任をもって職務を全うした。	3.6	3.9
18		組織の一員であることを自覚し、助け合うことができた。	3.6	3.7
19		生徒の将来のために、今何ができるかを考えながら指導した。	3.7	3.8
20	常にPDCAサイクルを意識し、職務を全うするよう努めた。	3.4	3.4	

2. 萩光塩学院の教育の特色について			平均	
			1 学期	3 学期
1	育てる 主体性を	生徒を神から委ねられたものとして受けとめ、ありのままの彼らを、一人の人間として愛し、許し、受け入れ、尊敬の心をもって接した。	3.8	4.1
2		教育活動のねらいが、生徒自身を成長させることであり、教職員はそれを助ける存在であることを理解して取り組んだ。	3.7	4.1
3	かかわる力や態度を養う 自己を他者にひらいて	互いにひらかれた心を持ち、相互の多様性を尊重しつつ協力した。	3.3	3.5
4		生徒・保護者・卒業生及び社会の声に謙虚に耳を傾け、そこから学ぶ姿勢を大切にされた。	3.5	3.8
5		自分の視野を広げ、生徒とともに世界の人権尊重や平和の実現に対する意識を育て、貢献できるよう努力した。	3.1	3.4
6	生き方を促す 神に心をひらく	神が、生徒一人ひとりと私たちを導いてくださる、真の教育者であることを理解するよう努めた。	3.4	3.5
7		萩光塩学院で、祈る心を持ち、謙虚さ、善良さ、誠実さ、平和、人間味あふれる温かい交流などの、精神的深まりを大切にされるものであるよう努めた。	3.6	4.0
8	調和のとれた人格の 発達をめざす	生徒一人ひとりの必要に合わせ、調和のとれた人格の育成のため、個別的で、愛情深いかかわりや指導を実践した。	3.5	3.7
9		教育の充実に不可欠な、教職員間の対話や協力を進めた。	3.4	3.5
10		私たち自身が、人間というものをより広くより深く捉えることができる目を常に養い、自分自身の人間形成の努力を続けた。	3.1	3.6
11	その他	萩光塩学院が、各自の信条・思想を尊重しながら、キリストの精神に生かされた共同体となるように努力した。	3.3	3.6
12		教職員研修などの場でカトリック教育の在り方を学び、建学の精神を発展させた。	3.1	3.5
13		萩光塩学院をより豊かなものにするため、各自の任務の中で、自分の専門分野に精通し、たえず刷新し、熟練するよう努めた。	3.5	3.4
14		卒業生・保護者及びかつて学校にかかわった人々との交流の機会を設け、私たちの伝統である温かい家族的な精神を保ち、育てた。	3.4	3.8

6 学校関係者評価	
募集	萩地区から地区外へ進学する生徒がいる中で、学校説明会を他校以上に充実させることが重要である。本校の特色である英語や書道などを活かして、中学校へ出向いて活動するなど、中学校との繋がり、連携を強めることが大切である。
生活指導	最近の生徒の校外での様子を見ると、制服をきちんと美しく着こなし、明るく挨拶もよくしている。ここ数年で生徒の制服姿が美しくなってきたように感じる。生徒の人間関係などの問題に対しても、一人ひとりに丁寧な指導がなされている。
進路指導	生徒一人ひとりの進路に対して、保護者も含めて面談を繰り返すなど、きめ細かい指導がなされており、「光塩は良く面倒を見てくれる」という言葉をよく聞く。個人情報には配慮する必要があるが、進路実績をもっとアピールするべきではないか。
その他	保護者との懇親会など、親睦の機会をさらに充実させてほしい。